

教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 平成30年8月20日(月) 午後2時30分～午後4時00分
- 2 場 所 伊東市役所高層棟4階中会議室
- 3 出席者 1番 高橋 雄幸君 2番 井上 靖史君
3番 山本 香織君 4番 沼田 芳美君
5番 村上 恵宏君
- 4 参 与 教育部長 富士 一成 次長兼教育総務課長 岸 弘美
教育指導課長 操上 俊樹 幼児教育課長 稲葉 祐人
生涯学習課課長補佐 大川 貴生
生涯学習課課長補佐 鈴木 淑夫
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 太田 靖久 主事 杉山 詩乃
- 6 会議の経過

教育長：ただ今から伊東市教育委員会8月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

(事務局から出欠報告及び資料確認)

教育長：それでは議事に入る。始めに前回の会議録の確認を行う。7月定例会の会議録について修正点等はあるか。

(意見なし)

教育長：会議録を原案どおり承認してよろしいか。

(委員全員から賛成の声)

教育長：承認が得られたので、7月定例会会議録は原案どおり決定する。会議録の署名は井上委員にお願いします。

教育長：議事に入る。教育長報告を行う。8月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

- 7月24日 小学生ふるさと教室漁業体験見学、タウンミーティング
- 25日 伊東市と㈱セブンーイレブン・ジャパンとの包括提携
- 26日 伊東市学校保健会総会、いでゆ大学キャンプ訪問
- 27日 伊東高校全国大会出場生徒激励会
- 29日 オール伊豆少年野球学童部大会開会式
- 30日 岡区小学生の宿題勉強会见学
- 31日 子ども食堂オープン記念式典、教育機関職員試験委員会
- 8月 2日 公立幼稚園・こども園教育研究会東部支部教頭・主任研修会
ライフスキル研修会（～4日・伊東ライオンズクラブ共催）
- 3日 善行賞打合せ会、伊東ジュニア陸上クラブ全国大会出場激励会
- 4日 YMCA 小学生キャンプ教室（伊東ワイズメンズクラブ共催）
- 6日 生徒指導協議会、政策会議、東海館点灯式
- 7日 部内サマーレビューヒアリング、市民夏の夕べ
- 8日 教育問題懇話会
- 10日 伊東市表彰式、按針祭式典
- 11日 按針コンサート、中央会館子ども水族館見学
- 12日 県互助組合主催事業見学
- 15日 諏訪市交流訪問
- 16日 諏訪市交流訪問
- 17日 教育長研修会
- 18日 教育機関職員採用試験（二次試験）
- 20日 定例教育委員会、サマーレビュー副市長ヒアリング

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

教育長：それでは、各委員からの報告をお願いします。

委員：8月2日に伊東市総合戦略推進会議に教育委員会の代表として出席した。会議の中で伊東市が住みやすいまちとなるために、教育環境としてはエアコンの設置率が全国的にも低いので、設置に対する予算を考えてもらいたいと話をした。伊東市の人口を増やすための施策について検討を行ったが、中学校で見ると、対島中学校の生徒減少率が少ないので、人口を減らさないヒントが対島地区にあるのではないかと思う。

教育長：それでは、報告事項に入る。教報第11号「伊東市子ども・子育て支援法施行細則の一部を改正する規則について」を議題とする。

(稲葉幼児教育課長から資料に沿って説明)

教育長：ただいまの説明について意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

教育長：次にその他に入る。始めに「平成29年度伊東市教育委員会自己採点・評価報告書の作成について」を議題とする。

(事務局から資料に沿って説明)

教育長：意見・質問はあるか。

委員：前年より評価の視点が増えており、委員としての仕事を果たせていると感じた。この評価で良いと思う。

委員：平成28年度と比べ市長と話をする場が増え、そのことも評価に反映されているので良いと思う。

委員：市長との距離が近くなり良かったと思う。

委員：市長にエアコンの設置の要望等もできたので良かった。

教育長：この評価で進めていきたいと思う。11月に教育委員会全体の評価に

ついて最終確認をするのでそれまでしっかり振り返りをしていきたい。

教育長：次に「各課報告について」を議題とする。

岸次長兼教育総務課長：教育総務課から2点報告する。1点目は教育問題懇話会について報告する。小中学校の適正規模及び配置のあり方について諮問内容を踏まえ、7人の委員を選出し、第1回目の会議を8月8日に開催した。概略としては、夢や希望を育む学校の実現に向けた適正な教育環境のあり方について委員から意見をもらった。第1回目は、子どものためにという視点での意見を共有したいという考えのもと、伊東市の子どもたちにどのような大人になってほしいか、そのためにどのような学校環境が必要か、ということを中心にポイントとして話し合いを行った。今後の予定としては、来月小学校2校の視察をする予定である。今後も気持ちを前向きに子供たちのためにスピード感をもって進めていきたいと思う。

2点目は、来年度採用予定の幼稚園教諭の採用試験について報告する。7月22日（日）に第1次試験が行われ、8月18日（土）に第2次試験が行われた。第2次試験では、作文及び集団討論の試験を行った。合格者については、8月30日に行われる第4回試験委員会で審議し決定される予定である。

操上教育指導課長：教育指導課から3点報告する。1点目は、4月に行われた全国学力学習状況調査について、8月1日に結果が公表された。伊東市の状況としては、全国平均と比べ、小学校では各教科3ポイント前後下回り、中学校では数学Aは少し下回るが他は平均又は平均を上回る結果となった。中学3年生が小学6年生だった頃に比べると伸びている。小学校では点数を取らせる教育ではなく、思考力や学習意欲の向上を目指す教育をしているので、中学校で成果が出ているのではないかと思う。

2点目は、夏季学校閉庁日について、市内小中学校において8月14日及び

15日に教職員の心身のリフレッシュ及び休暇取得促進を目的とし学校を完全閉庁とした。緊急の場合の連絡先は教育指導課としていたが、緊急の連絡は1件も無かった。

3点目は、生徒指導について1学期のまとめとして報告する。問題行動について、小中学校において報告件数は前年度とほとんど変わらない。小学校は全国的に増えている傾向にあり課題となっている。再発させないためにも本人が考えるような指導をしていく必要がある。中学校はここ数年比較的落ち着いている。教職員の生徒に対する接し方について、上から目線で接したりすることが無いよう指導し正していきたい。不登校について、小学校に比べ中学校が多く、前年度からの継続が多い。受験等が近くなる中学3年生になると遅刻や欠席が激減する傾向にある。いじめについて、加害者に指導をしても期間をおくと再発してしまう。担任のみではなく組織として対応していくことが必要である。生徒間暴力の件数が増えているので、生徒の人間関係作りや思いやりの気持ちを持つことが大切かと思う。認知の中からいじめだと確実に言えるようなものは記録票を作成して報告をもらっている。

稲葉幼児教育課長：幼児教育課から1点報告を行う。今年度から市立幼稚園において初めて8月の預かり保育を開始した。時間は午前9時から午後2時までとなっている。仕事をしている保護者や兄弟がいない子の利用者が多い。

杉山生涯学習課長：生涯学習課から5点報告を行う。1点目は、8月23日から25日に小学生の船を実施する予定である。事前研修は2回実施済みである。台風20号が発生しているため、開催できるか様子を見て決定する。

2点目は、街頭補導について、夏休み中に伊東警察及び青少年補導センターも含めてパトロールを実施した。問題のあるような補導は無かった。今後とも青少年の健全育成に努めていきたい。

3点目は、成人式実行委員会について、8月28日（火）に第1回目を開催する。新成人13人が実行委員となり、来年1月13日（日）に成人式を行う。

4点目は、秋のひぐらし寄席が10月2日（火）に行われる。9月3日（月）より申し込みが始まる。出演者は、落語家の入船亭扇遊と入船亭遊京、太神楽曲芸師の翁家和助の3人である。

5点目は、オレンジビーチマラソンを1月20日（日）午前9時から11時に開催する。直近2年は土曜日の開催だったが、今年度は日曜日に戻すこととなった。申し込みは9月15日（土）から行う。主な変更点は、例年申込が多い小学生2kmの部の定員を200人ほど増やす。また、例年参加してもらっている駒澤大学の選手が今年度は参加できないこととなった。ゲストランナーは茨城ゴールデンゴールズの片岡安祐美選手である。

教育長：ただいまの報告について、意見・質問はあるか。

委員：不登校について、中学生が多いが中学校を卒業した後の様子など確認をとっているのか。卒業後の生活等から不登校を無くすヒントが得られるのではないか。

操上教育指導課長：進路先及びそれ以降の追跡調査はしていない。自宅や職場等に連絡をして確認をとることはなかなか難しいことである。担任が個人的に相談に乗ったり、高校に進学した生徒は高校の教員から報告をもらえるが、組織的に調査することはプライバシーの問題もあり難しいことである。

委員：いじめについて、記録票とはどういうものか。

操上教育指導課長：記録票は、どのようないじめを、誰から、各月の状況の変化、学校の対応をまとめるものである。

委員：預かり保育について、利用する場合は事前の申し込みが必要なのか。

稲葉幼児教育課長：利用月の前月に翌月1か月分の利用希望を出してもらって

いる。キャンセルは受け付けているので、利用するかもしれない日には希望を出してもらっている。利用料金は1日400円で上限を月5,000円としている。

委員：申込人数によって、従事する先生の人数を決めているかと思うが、キャンセルが多く、先生の手が余った場合はどうするのか。

稲葉幼児教育課長：利用者が少ないときは教材準備や事務作業をすることもある。

教育長：教育問題懇話会について、学校を視察予定とのことだが、教育委員と連携を持つことができたなら良いのではないか。

岸次長兼教育総務課長：日程はまだ決まっていないが、予定が合えば教育委員の方々も一緒に視察に行ければ良いと思う。視察する学校は川奈小学校及び南小学校を予定している。子どもたち同士での時間を視察したいとの意見があったため、休み時間や給食の時間等が候補となっている。授業参観ではない活動を見るというのを趣旨に視察を行いたいと思う。

委員：アクティブラーニングや道徳の授業もいいのではないか。子どもたちがディスカッションするような授業を見てみたいと思う。

岸次長兼教育総務課長：教育問題懇話会でも同様にチームティーチングやアクティブラーニングの授業を見たいという意見があった。できるだけ要望を取り入れて学校とも調整をしていきたいと思う。

教育長：全国学力学習状況調査について、報告がまとまったらまた詳しく説明する。点数に翻弄されずに1日1日の授業を積み重ねることが大切である。小学校から中学校にかけて伸びていることから、伊東市の教育方針は間違っていないと思うので、先生方にも自信を持って授業を行ってほしい。

生涯学習課にて夏に様々なイベントがあり、準備運営等職員が一体となって

協力し合いとても頑張っていた。

教育長：今後の日程について確認する。

9月の定例会については、9月25日（火）午後2時30分から

10月の定例会については、10月18日（木）午後2時30分からを予定している。

教育長：以上で伊東市教育委員会8月の定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委員 井上 靖史

書記 杉山 詩乃